

令和4年度 全日本卓球選手権大会(ジュニアの部)予選要項 (高体連登録加盟選手用)

主催：一般社団法人東京都卓球連盟

主管：東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部

標記の大会を下記要項にて開催します。希望校は参加費を指定の用紙で振込の上お申し込みください。

記

1. 期日・会場

9月10日(土) 13:00～ 秋川体育館・エスフォルタアリーナ八王子(メインアリーナ)

11日(日) 9:00～ 五日市ファインプラザ

18日(日) 9:00～ 五日市ファインプラザ・安田学園高校

23日(祝) 9:00～ 羽村スポーツセンター・南平体育館

25日(日) 9:00～ 安田学園高校(決勝大会)

2. 競技種目・参加数 シングルス 各校参加数制限なし

3. 競技規定 現行の日本卓球ルールと以下の規定を適用する。

- (1) 選手は、(公財)日本卓球協会発行の令和4年度ゼッケンを背中につけること。
- (2) ベスト8決定戦以降はタイムアウト制を適用する。
- (3) 日本卓球ルールで、特に留意すること。
 - ア. ラケット、正規のサービス及び促進ルールについて正しく理解しておくこと。
 - イ. 競技用ユニフォームは(公財)日本卓球協会公認マークの付いたものとする。
 - ウ. ラバーをラケット本体に貼る場合に使用する接着剤は、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして(公財)日本卓球協会が公認した接着剤のみとする。
 - エ. 接着剤の使用は、指定された場所のみで認める。

4. 競技方法・代表数

- (1) **代表数は8名**
- (2) 全試合11本5ゲームスマッチとする。
試合前のラケット交換は、台上で見せ合うようにする。試合後の握手は行わない。
- (3) 8ブロックのトーナメント方式で**各ブロックの上位1名ずつを代表とする。**
- (4) ベスト8以上は引き続きトーナメントによって決勝戦まで行う。
(3位以下の順位決定戦は行わない。)
- (5) 選手・審判は毎試合終了後に卓球台の消毒(ぞうきんでの乾拭き)を行う。

5. 試合球及び使用卓球台

- (1) 使用球は、株式会社タマス バタフライスリースターボールR40+のみとする。
- (2) 使用卓球台は、(公財)日本卓球協会公認台とする。

6. 高体連申込資格

- (1) **日本国籍を有する者**で、平成16年4月2日以降に出生した者。(高校2年生以下)
※ **ただし、以下の1つに該当すれば外国籍選手も参加できる。**
 - (イ) **日本国民であった者の子(養子を除く)**で、申込締切日(令和4年8月23日)現在で引き続き3年以上日本に住所または居所を有する者。
 - (ロ) **日本で生まれた者**で、申込締切日現在で引き続き3年以上日本に住所または居所を有する者。またはその父、母(養父母を除く)が日本で生まれた者。
 - (ハ) **申込締切日現在で引き続き10年以上日本に居所を有する者。**
- (2) 令和4年度東京都高等学校体育連盟男子卓球専門部加盟登録済みの学校に在籍し、在籍校から**令和4年度(公財)日本卓球協会に登録済みの者。**
- (3) 上記(1)(2)の要件を満たした上で、在籍校の学校長の許可を得た者。
※ 本要項は東京都高等学校体育連盟男子卓球専門部登録選手用。
その他の参加希望者は(一社)東京都卓球連盟に問い合わせること。

7. 参加申込

- (1) 申込方法
必要事項をすべて記入した所定の申込用紙に**学校長許可印を受け**、(2)に従って提出する。
- (2) 申込締切・提出先 ※ **締切日以降の申し込みは一切受け付けない。**
事務局へ郵送・・・・・・・・令和4年8月23日(火)必着
郵送申込先(事務局)
〒111-0041 台東区元浅草1-6-22(都立白鷗高校内)
東京高体連男子卓球専門部事務局 若井 清孝 宛

8. 参加料 8月23日(火)までに所定の振込用紙で指定口座に振り込むこと。現金は受け付けない。

シングルス 1人 **1,000円**
振込先口座 **ゆうちょ銀行 00180-2-155080**

- ※ 領収証の必要な学校には試合会場にて領収証を作成・発行する。ただし、振込確認ができていない領収証は発行しない。(振り込み確認には4~5日ほど必要)
- ※ 台風等によるやむを得ない日程変更よって大会に出場できなくなった場合、参加料は返金できない。

9. 大会参加校が遵守する事項(引率責任者が指導を徹底すること)

- (1) 参加にあたっては、生徒・保護者から同意書(別紙)を得る事。必要事項を記入して各学校の顧問教諭(引率者)が大会当日に確認して大会終了後に学校長に提出。大会後の感染発生時に備えて各学校で1ヶ月保管する。
- (2) 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加校の責任において当該生徒の参加を見合わせる。
 - ア. 体調がよくない場合
(例:平熱を超える発熱・咳・咽頭痛・強いだるさ・息苦しさ・味覚嗅覚の異常などの症状がある場合)
 - イ. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ. 新型コロナウイルス陽性者との濃厚接触者である場合

エ. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

- (3) マスクは参加者が持参し、使用後全てのゴミとともにビニール袋に入れて持ち帰る。
(参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用する)
- (4) 消毒用アルコール等は参加校が用意し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒や使用用具、観覧席の消毒を実施すること。手拭き用のタオル等は各自持参させる。
- (5) 他の参加者や役員等との距離（できるだけ2m以上）を確保する。
- (6) 大会中に大きな声で会話、応援等しない。
- (7) 競技前後のミーティング等においても、三つの密を避ける。
- (8) 感染防止のために主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従う。
- (9) 参加者が大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告する。
- (10) 当面の間、無観客で開催するため当日の入場に制限があることを保護者等に周知・徹底する。
- (11) 会場への移動等は参加校が責任をもって集団リスク（3密の条件）を避ける。

10. その他

- ・無観客試合のため、以下の者以外の入場は認めない。
 - 生徒：出場選手（出場選手が1名の場合、決勝大会は練習相手1名可）
 - 引率責任者：1名（顧問教諭または引率を認められた部活動指導員）
 - 監督：1名（日本卓球協会役職者登録済みの教諭または部活動指導員または外部コーチ）
- ・**引率責任者のいないチーム・選手は委任状が必要。**引率責任者は責任を持って選手の体調管理を行う。
- ・今大会は第62回大阪国際招待卓球選手権大会の選考会（代表枠6）を兼ねる。
ジュニア予選決勝大会上位進出者には参加意思の有無を確認し、ジュニア予選決勝大会で大阪国際招待卓球選手権大会代表選手決定戦を行うこともあり得る。

男子卓球専門部事務局への連絡はメールでおこなうこと。

事務局 E-mail : tkktr_pinpon_ds@tkdts.net

(メールアドレスが変わりましたのでご注意ください)